代表質疑

議案に対する各会派の代表質疑の中から主な質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

自由民主党

菊地　崇良　議員

全市を挙げた「いじめ・自死等問題」への緊急対策を

問 本市のさまざまないじめ対策は、結果として効果がなかった。再発防止のため、教育現場の環境を改善するとともに、市長部局に子育て・健康・福祉・地域等の横断的総力を結集し教育行政をサポートする部署を直ちに設置せよ。

答 教員・学校の役割が拡大し負担が増している。負担軽減を図り、子どもと向き合うことができるよう業務のバランスを取っていきたい。また、学校現場の課題に対し、市長部局の部署が組織横断的にサポートすることも重要であり、支援体制整備に取り組みたい。

東北連携・地方創生で人口減少社会に備えよ

問 本市の持続的発展には東北227市町村での共存共栄・広域連携が必須だ。意見集約・政策共有を統括するコントローラー・貢献者として東北連携の取り組みを。

答 東北絆まつりのような各都市と手を携えた交流人口の拡大や本市を起点とした販路獲得など、本市が先頭に立ち東北全体の活性化につながる取り組みを推進していく。

その他の主な質疑項目

○テロ等対策と災害法制権限移譲
○被災者支援の継続と復興の促進
○公園・スポーツ施設の原状回復促進と深沼海水浴場の再開
○待機児童への対応と幼児教育
○仙台城跡や四ツ谷用水、陸奥国分寺跡、貞山運河など歴史的風致を活かした観光施策
○地域の補完的交通手段の創設
○今後赤字が予想される本市財政の現状認識と長期的な展望
○奥山市政8年間の総括

仙台・東北の幸せと発展を見守る藩祖政宗公（博物館南庭の初代銅像）

市民フォーラム仙台

木村　勝好　議員

いじめ問題に対する対応

問 本市の中学校でいじめを原因とした3回目の自死事案が発生したことは誠に残念。いじめ問題に関する各委員会は、奥山市長在任中に委員の補充や委員会の立ち上げを行い、機能させるべきだ。

答 本事案については、市教委附属の従来の専門委員会に加え、当該委員会との役割分担を明確にした第三者機関を市長の下に設置し、体罰の実態や従来のいじめ防止対策の検証を進める。平成28年2月の事案については、市長の下に再調査委員会を早期に設置する。

本市バス事業の今後のあり方

問 本市バス事業は経営状態が悪化しており、経営努力も限界に近づいている。経営健全化団体に転落させないため、公営企業として継続する部分とコミュニティバス事業など公営企業以外の方法で維持していく部分とに分けて対応すべき時期ではないか。

答 バス事業を取り巻く環境が厳しさを増す中、将来的に路線バス運行が困難となる地域が生じることも予想される。市民生活を支える持続的な交通の確保は重要な課題であり、今後必要な調査を実施し、地域交通のあり方について検討を進めていく。

その他の主な質疑項目

○市役所本庁舎の建て替え問題
○音楽ホールへの今後の取り組み
○災害対応法制の見直し
○今後の待機児童対策
○外国人観光客の誘致拡大
○沿岸部の集団移転跡地の利活用
○放射性汚染廃棄物の処理問題

大阪市は地下鉄・バスを民営化（写真提供　大阪市交通局）

公明党

鎌田　城行　議員

「いじめは絶対ダメ」という共通認識を徹底すべき

問 「いじめは絶対ダメ」との認識を子ども、教師、保護者で共有することが必要。自死という重大事態に対し、被害を受けた方々の身に寄り添い、対応に誤りのないよう留意してもらいたい。

答 4月に発生した自死事案において、いじめの重大事態として扱う判断が遅れたことは、反省すべき点と考えている。現在は、いじめ問題専門委員会による、ガイドラインに基づく詳細な調査の準備を進めており、遺族の意向に配慮するとともに、調査結果を遺族に適切に提供していく。

自転車の安全利用に関する条例創設を

問 自転車の安全利用を推進することは喫緊の課題であり、早期に条例創設を図るべき。

答 一層の安全利用を図るため、自転車利用者の果たすべき役割や自転車保険加入の必要性などを条例という形にすることが有効との判断に至った。今後、条例の制定に向け、有識者や関係団体等の意見を聞き、検討作業を進めていく。

その他の主な質疑項目

○市長の施政方針の今後の展開
○最後の一人が震災から復興を果たすまできめ細かい支援を
○いじめ根絶に向けた対策室の設置と条例の創設
○貞山運河やサイクリングロードの復旧と利活用
○都市公園の再整備のあり方
○市民センターにおける座敷椅子の配備など設備の充実
○市施設使用料支払い方法の統一
○市道認定の迅速化と基準緩和

自転車の安全利用の推進を（自転車マナー啓発活動の様子）

日本共産党

花木　則彰　議員

教育長は少人数学級などを決断し市長に求めよ

問 いじめ問題は、教育の営みの中でこそ乗り越えることができる。子どもと向き合う時間、教員同士が話し合い切磋琢磨し力をつける時間が必要。事務職員増員、定数内講師の正規化、少人数学級など必要な体制を急ぎつくれ。

答 増員を伴う少人数学級の導入などは従来から国に要望している。正職員の教員の確保は今年度からの権限移譲を機に、まずは国から示された定数の中で可能な限り努力していきたい。

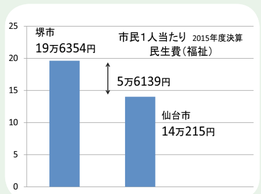
子どもに「命を守る」市の姿勢を示すべき

問 市長は、いじめを受けている子どもの緊急避難先に、現在不登校児童・生徒を対象に運営している適応指導センター「児遊の杜」や適応指導教室「杜のひろば」を活用するなど具体的手だてをとり、命を守る姿勢を示せ。

答 「児遊の杜」や「杜のひろば」は、さまざまな要因による心理的・情緒的な理由で不登校状態にある児童生徒の適応指導を行う目的で設置されており、通級児童生徒の学習サポートも行っているところである。いじめ等で学校生活に苦痛を感じている児童生徒の避難場所は、本人や保護者の意向を十分配慮し、どのような形で確保すべきか、当該施設活用の可能性も含め、今後検討していきたい。

その他の主な質疑項目

○公務員の憲法順守義務
○福祉予算の割合が政令市中最下位で建設事業費は第1位である市財政のゆがみを正せ
○待機児童解消へ公立保育所整備を



福祉予算の割合が政令市中最下位の仙台市

社民党

ひぐち　のりこ　議員

奥山市政での女性活躍の考え方について

問 我が国の女性首長は全体のわずか1・57％の中、本市のトップが女性であることで多様な将来像を抱けるようになっている。女性の活躍に向けた市長の考えを伺う。

答 女性が新たなフィールドにチャレンジし、生き生きと能力を発揮できるよう、市職員の育成はもとより、男女共同参画の推進や、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりなどに取り組んできた。女性が幅広い分野で意思決定の場に参画し、その多様な価値観や発想が市民協働のまちづくりでも生かされていくことを期待する。

貴重な公共空間としてさまざまな役割を持つ都市公園

都市公園内への保育所等設置は百年の杜づくりを踏まえ慎重に

問 公園のみどりが多様な機能を持つことを踏まえ、都市公園内への保育所や集会所の設置は慎重に行うべきと考えるが伺う。

答 設置要件として、公園以外での用地確保が困難であること、一般の公園利用者に大きな支障が及ばないこと、公園利用の促進が図られることなどを定めている。地域の理解を得た上で、検討を進めていくものと考える。

その他の主な質疑項目

○看護師・保育士など女性が多い職種でも他職種と同様の昇任を
○技術職等の採用時面接手法の改善
○教育行政の自主性、自律性の尊重
○保育所等での仲間づくり保育
○中小企業融資制度の対象の一般社団法人・財団法人への拡充
○給食会計管理システム導入後の教職員の負担軽減効果の検証
○自走式搬入物検査機導入により想定される事業ごみ減量の効果

常任委員会 審議の概要

平成29年6月21日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣に記載しています。

また、各議案名は4面の会派別議案賛否一覧表をご覧ください。

「○」は付託議案に対する質疑項目

「・」はその他の報告事項等

総務財政委員会

（第86・87号・議第2号・平成28年議第7号）

今定例会で付託された3議案のうち、議第2号は賛成多数で、第86号議案および第87号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、継続審査中の平成28年議第7号は賛成少数で、本会議で否決すべきものと決定しました。

市民教育委員会

（第86・90・93号）

付託された3議案のうち、第86号議案は賛成多数で、第90号議案は全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定し、第93号議案は賛成多数で、原案のとおり本会議で承認すべきものと決定しました。

○給食費の公会計化について

健康福祉委員会

（付託された議案なし）

・精神保健福祉総合センター「はあとぽーと仙台」の大規模改修に伴う一時移転について
・「（仮称）仙台市子どもの貧困対策計画」の策定に係る協議会の設置等について
・公立保育所の民営化について
・国民健康保険の保険料について

経済環境委員会

（第86・91号）

付託された2議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

問 一般社団法人・財団法人の中小企業融資制度の利用要件を伺う。

答 本市内に事業所を有し、社会的課題解決を図る事業を実施する事業者で市長の認定を受けた者である。

都市整備建設委員会

（第88・89・92号）

付託された3議案は、全て全会一致で、原案のとおり本会議で可決すべきものと決定しました。

・分譲マンション管理実態調査の結果について
・ボックスカルバート、道路案内標識・道路情報板の長寿命化修繕計画の策定について

議員協議会

平成29年4月に市立中学校で発生した自死事案における教育委員会の対応について協議するため、5月22日、6月8日に議員協議会が開かれました。5月22日には6名の議員が当局に質問を行いました。

いじめ問題等対策調査特別委員会の設置

市立中学校で相次いで発生している生徒の自死事案等について、事実関係の把握と原因の究明を行い、速やかにいじめおよび体罰の防止対策を講じることを求め、児童・生徒が安心して健全な学校生活を過ごせるようにすることを目的として、6月23日に調査特別委員会を設置しました。

本委員会は、全55人の議員で構成され、事実経過を調査するとともに、いじめ問題等に関する諸課題、再発防止策等について調査を行います。

議員表彰

永年にわたり市政発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰されました。

○特別表彰（議員在職30年以上）
小山　勇朗

○一般表彰（議員在職10年以上）
相沢　和紀
村上　かずひこ
高見　のり子
跡部　薫
加藤　和彦
小野寺　健
すげの　直子

平成29年第3回定例会は、9月11日（月）開会の予定です。

用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●経営健全化団体（注1）（2面2段）

公営企業の経営状態の悪化により経営健全化計画を策定している地方公共団体のこと。地方公共団体は、経営する公営企業の事業規模に占める資金不足の割合を示す資金不足比率が20％以上になった場合、同計画を策定し、毎年度その実施状況を国などに報告する必要がある。

●自走式搬入物検査機（注2）（3面3段）

ベルトコンベヤーを装備した自走式のごみ検査装置のこと。事業ごみを検査機のベルトコンベヤー上で検査し、検査後はベルトコンベヤーを動かしそのままピットに投入できるので、検査の容易化、短時間化、省力化につながる。

●ボックスカルバート（注3）（3面6段）

道路、水路、通信線等の収容など、各種の用途に使用される、地中に埋設される箱型の構造物。

●NBC（注4）（4面1段）

核（Nuclear）、生物（Biological）、化学（Chemical）のそれぞれの頭文字。これらを用いた大量殺りく兵器を、NBC兵器という。

●ドローン（注5）（4面2段）

遠隔操作または自動操縦により飛行する無人航空機のこと。飛行する音がハチの羽音に似ていることから、雄バチを意味する英単語から名付けられたとも言われている。空撮や物流分野での活用が期待されている。

●民泊（注6）（4面3段）

住宅の空き室などに有料で旅行者を宿泊させるサービスのこと。これまでは違法であったが、今後、住宅宿泊事業法の施行により、一定の要件の下で営業が可能となる。

●環境アセスメント（注7）（4面4段）

一定規模以上の開発事業を行うに当たり、環境への影響についてあらかじめ事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して、住民や行政からの意見を聴いた上で、環境の保全の観点からよりよい事業計画を作り上げていく制度。

●優良田園住宅制度（注8）（4面5段）

健康的でゆとりのある生活を送ることができるよう、農山村地域や都市の近郊等で優良な住宅の建設を促進する制度。

子ども議会（議会体験プログラム）に参加しませんか

仙台市議会では、小学校5年生から高校3年生までの団体を対象に、「子ども議会（議会体験プログラム）」を実施しています。

子ども議会では、児童・生徒がシナリオに基づいて、議長や議員などの役割を演じながら、審議を体験し、議会の仕組みを学ぶことができます。

総合学習や社会科の授業などに、どうぞご活用ください。

＜お申し込み・お問い合わせ＞

議会事務局調査課　TEL（214）6169